

カタログ

ビジネスを 加速する

HP Application Lifecycle Management ソフトウェア



世界中のテクノロジーユーザーが、高品質、高性能で、しかも魅力的な機能を備えたアプリケーションやソフトウェアのデリバリの高速化を求める傾向は、ますます強まっています。HP Application Lifecycle Management (ALM) ソフトウェアは、アプリケーションチームがアプリケーションデリバリで活用できる単一の高機能リポジトリとして機能します。信頼できるアプリケーションのデリバ리를計画、構築、高速化する ALM は、イノベーションと顧客満足を実現するだけでなく、あらゆるエンタープライズプロジェクトとアプリケーションライフサイクル全体を可視化します。

新しいアプリケーションのデリバ리를ビジネスに要求される速度にまで高速化

ビジネスでは、エンドユーザーの満足度向上、収益アップ、最新機能を搭載した革新的な製品のニーズなどに対応するテクノロジーのデリバリがますます求められています。チームの分散配置、反復型の開発手法、サービス指向のアプリケーションや複合アプリケーションに代表される新しいアーキテクチャー、最新のWebテクノロジー、モバイルプラットフォーム、コンポーネントのクラウドソーシングなど、モダナイゼーションにはさまざまな手段がありますが、いずれの方法もアプリケーションチームにとっては新たな課題になります。さらに、テクノロジーのイノベーションは驚くほどの速さで進んでおり、それに伴ってデリバリサイクルが短縮し、アプリケーションチームは限界に追い込まれています。

より高機能な新しいテクノロジーに対するこのようなニーズに対応するには、すべての要素を追跡する手段が必要になります。また、ユーザーが求める高品質で高機能なアプリケーションを、スケジュール通りに予算内で提供する必要があります。

HP ALMは、最新のアプリケーションのデリバリサイクルをビジネスに要求される速度にまで高速化することに伴う、デリバリに至るまでの複雑なステップを管理する任務を負うチームを考慮した設計になっています。HP ALMは、堅牢性と拡張性に優れたプラットフォームであり、アクティビティとインサイトのハブとしての役割を果たしながら異種混在ツール環境にも対応し、要件から開発、テスト、およびデリバリへの準備状況に至るまで、アプリケーションデリバ리의あらゆる側面を管理できます。HPならアプリケーションデリバ리의モダナイゼーションにより、ライフサイクル全体を通じた対話型のコミュニケーションを容易に実現できます。

HP ALM ソフトウェアについて

HP ALMは、アプリケーションのデリバ리를のために必要となる作業、分析、および資産を、要件から開発、テスト、およびデリバリへの対応状況に至るまで管理して自動化することを可能にする統合プラットフォームです。HP ALMには市場をリードするHP Quality Center Enterpriseが含まれており、上流工程でのプロジェクトポートフォリオ管理ソフトウェアと下流工程でのデプロイメント/監視/インシデント管理ソフトウェアを統合することで、運用開始から廃棄に至るまでの完全なアプリケーションライフサイクル管理を促進します。

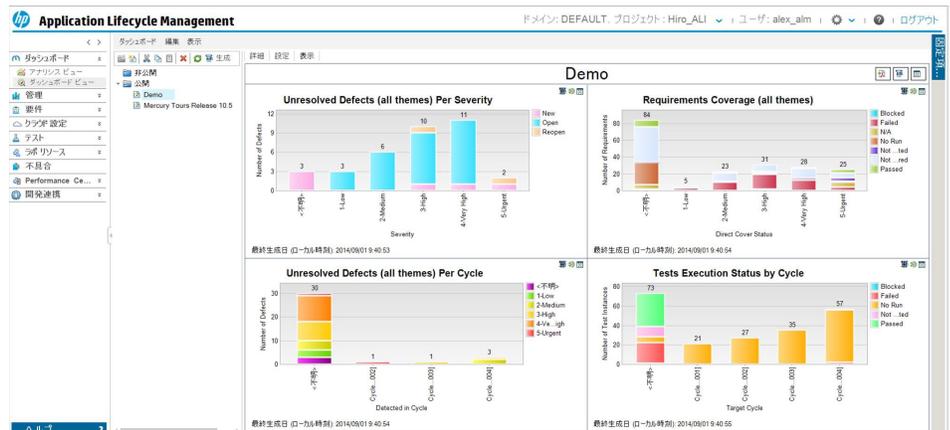
HP ALMは、ローカル、分散、アウトソースなどさまざまな体制のチームの可視性を一段と高め、今日のアプリケーションを構成するコンポーネントの管理を効率化します。ALMがあれば、アプリケーションデリバリ全体で一貫したプロセスを実施し、ベストプラクティスと資産の共有を推進できます。また、エグゼクティブ、プロジェクトマネージャー、ビジネスアナリスト、開発チーム、テストチームの間でインタラクティブで円滑なコミュニケーションを実現できます。標準規格に準拠し、拡張の容易なアーキテクチャーと一元化されたリポジトリに基づくHP ALMは、テクノロジーにとらわれない統合アプリケーションのデリバリシステムとして、業界の最先端をリードしています。

主な特長

プロジェクトのプランニングとトラッキング: 予測可能なアプリケーションデリバリーを実現するには、進捗状況と目標およびマイルストーンの達成度を認識し、エラーの発生しやすい手動データ収集に頼らずに最新情報にアクセスできるようにする必要があります。HP ALMでは、プロジェクトのプランニングとトラッキングに際して、チームがプロジェクトマイルストーンと主要業績評価指標 (KPI) を定義、追跡、測定、および報告することができます。プロジェクトマネージャー、リリースマネージャー、および品質保証 (QA) マネージャーは、プロジェクト計画、プロジェクトサイクル、プロジェクトマイルストーン (品質ゲート)、および関連する KPI (完了条件) を、管理対象タスクのタイプごとに定義および設定することができます。レポートの生成が可能で、レポートをスコアカードとしてビジュアル化したり、モバイルデバイスを含む他のツールにエクスポートしたりすることができます。また、HP ALMのトレーサビリティ機能を通じてプロジェクトの進捗状況が自動的に更新されるため、リスクを事前に洗い出すことができます。

Application Lifecycle Intelligence: HP ALMに搭載されているHP Application Lifecycle Intelligence (HP ALI) は、最新のアプリケーションデリバリーをサポートする、アクション指向の意思決定支援システムです。HP ALIは、誰がいつどこで何のために何をするかを、リアルタイムで把握できる分析情報をもたらします。この情報は、コーディングおよびテストからリスク管理、リスクアセスメント、および要件の適合に至るまでの、きめ細かいレベルで提供されます。HP ALIでは、リソースを最適化するとともに、プロジェクトの優先事項とリリース目標、およびビジネスへの期待事項の整合化を図るために必要な分析情報を提供することにより、意思決定を支援します。HP ALIは、要件、テスト、不具合、コードの変更、およびビルド管理システムにまたがるトレーサビリティをさらに向上させます。しかも、この5種類のトレーサビリティはリアルタイムで提供されます。

図 1: HP ALM はライフサイクル全体で関係者の可視性を確保



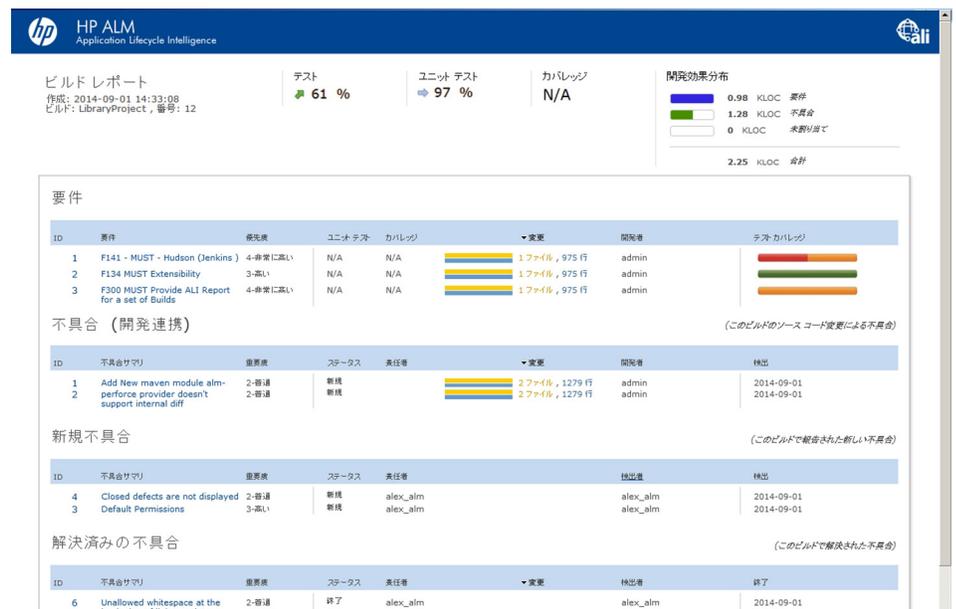
HP ALMによるラボ管理の自動化: テストチームでは、テストを実施するためのラボ環境のセットアップに関する課題が生じることがよくあります。ほとんどの場合、ラボをセットアップするには、複数のチームとの間でタスクを調整し、思い切った策をとることが必要になります。これには時間がかかる上、適切に実行しないと問題の原因になります。HP ALMとHP Continuous Delivery Automation (CDA) の統合により実現されるHP ALMのラボ管理機能では、ハイブリッドデリバリー環境 (ベアメタルまたは仮想、構内システムまたはクラウド) 内でテストラボをテストチームが自主的にプロビジョニングおよびデプロイすることが可能です。このモデル駆動型のアプローチは、ラボ構成におけるユーザーエラーの排除に寄与するため、テスト工程の妥当性と正確性が向上します。また、テストチームがラボのデプロイメントと並行してテストをスケジュールすることが可能なため、新しいビルドのテストが可能になり次第、テストの実行を開始することができます。この機能により、各ビルドサイクルの終了時に各チームが実施するビルド検証テストの精度が向上するため、アジャイル環境における品質が向上します。HP ALMのラボ管理機能では、アプリケーションライフサイクル全体にわたって同じモデル/構成を使用できるため、開発チーム、テストチーム、および運用チームの連携をDevOpsモデル内でより緊密なものにすることができます。

資産の共有と再利用:異なるプロジェクトの進行に伴い、組織内の複数のアプリケーションを同時に変更することが多いため、複数のプロジェクト間で要件とテストを共有および再利用することが必要になります。いずれかのアプリケーションの変更が他のアプリケーションに悪影響を与えて修正が必要になる事態を回避するには、このことが非常に重要となります。HP ALMでは、トレーサビリティを維持しながら、複数のプロジェクト全体における再利用が可能な共有資産ライブラリをサポートしています。プロジェクトごとに共有資産に特定の変更を適用できますが、ライブラリ自体の完全性は維持されるため、必要に応じてプロジェクトをライブラリと再同期させて、ライブラリに加えられた変更をプロジェクトに反映させることが可能です。さらに、HP ALMは、不具合に対処するためのクロスプロジェクトコラボレーションを実現します。

クロスプロジェクトレポート:アプリケーションイニシアチブを完全に把握し、エンタープライズリリースに関する意思決定を確かな情報に基づくものにするには、個々のプロジェクトにドリルダウンしながらエンタープライズリリースの全体像を得る必要があります。HP ALMはクロスプロジェクトレポート作成機能および事前構成のビジネスビューを備えているため、プロジェクトステータスの集約メトリック、アプリケーションの品質メトリック、要件カバレッジ、およびエンタープライズリリースと個々のプロジェクトビューの両方に関する不具合トレンドなどのレポートを容易に作成できます。

異種混在環境のサポート:HP ALMでは、Eclipse、Microsoft® Visual Studio®、IntelliJ、ビルドシステム、ソースコード変更管理 (SCCM) システムなどの統合開発環境 (IDE) をサポートしています。これは、開発ライフサイクル全体を通じて開発者のタスク、要件、および不具合問題をリンクできることを意味します。HP ALMでは、開発者の進捗状況とコード変更を要件と突き合わせて容易に追跡できるため、プロジェクトのステータスとリスク緩和に関する可視性が向上します。実績のあるHP ALMプラットフォームは、アプリケーションライフサイクル全体にわたり、要件管理ツール、プロジェクト管理ツール、複数のSCCMツール、市販およびオープンソースのビルド管理ツール、継続的統合ツール、各種開発者IDEなどが混在する異機種混在環境との親和性に優れています。また、SiteminderやCommon Access Card (CAC) によるシングルサインオン (SSO) など、一般的なID管理標準にも対応しています。これまでの投資が無駄になることがなく、ビジネスパフォーマンスをより包括的に把握することが可能になります。

図 2: アジリティと継続的なデリバリのためのベストプラクティスを強化する HP ALI のビルド変更レポート



HP Live Network: HPソフトウェアへの投資効果を最大限に引き出すために、HP Live Networkではソフトウェアコンテンツ、ベストプラクティス、ドライバ、追加情報を提供しています。コンテンツには、hpln.hp.comからパーソナライズされたパスポートでアクセスしてください。

要件の定義と管理: ビジネスデマンドとITアプリケーションデリバリの整合化を図るには、要件の管理が不可欠です。HP ALMでは、要件の定義と管理のための基板として、豊富な機能を提供しています。

HP ALMの要件管理には、主に次のような特長があります。

- インポートしたビジネスプロセスモデルに要件をリンクして構造化し、パスカバレッジを評価
- 構成可能なテンプレート
- HP ALM内で使えるMicrosoft Wordライクなエクスペリエンスを提供するリッチテキストエディター
- ドキュメント中心の表示モードで要件リストをまとめて表示し、説明の変更にも対応
- 要件カバレッジをプロジェクト/リリースレベルで表示し、ビューをその場で設定可能
- 要件、プロセスパス、不具合、テストカバレッジの関係を追跡
- テスト、開発者のタスク、不具合に要件を直接リンクすることで、変更時に整合性を維持
- 要件を他の要件、アジャイルなユーザーストーリー、上流のビジネス戦略にリンク

機能、パフォーマンス、およびセキュリティ全体での品質保証:

HP ALMに付属するHP Quality Center Enterprise (QCE) は、テスト計画の作成と管理を行うプラットフォームであり、業界トップクラスの機能を備えています。QCEには以下の機能が含まれます。

- リスクベースのテスト計画および管理: すべてのテストスクリプトタイプ (機能、パフォーマンス、およびセキュリティ) を一元的に定義、管理、および追跡できます。リスクベースのテスト管理とHP QCEを組み合わせることにより、要件にビジネスリスクを割り当て、テストリソースの割り当て先を計算します。高度なテスト計画機能が搭載されているため、機能テスト、リグレーションテスト、負荷テスト、ユニット (単体) テスト、統合テストのいずれについても、個々のテストに固有の要件、スケジュール、および手順を定義した計画を策定できます。HP ALMでは、QAチームがビジネスプロセスをエミュレートして、オフピークの時間帯に無人テストを実行でき、また、テストケースおよびビジネスプロセステストのコンポーネントを定義し、手動テストと自動テストを実行して、その両方から統合された結果を得ることができます。
- バージョンコントロール: 要件、テスト、およびテスト資産に対するバージョンコントロール機能が搭載されているため、分散チーム間のコラボレーションを通じて複数のバージョンの資産を並行して管理することができます。この管理は、データの完全性を維持したまま行うことができ、プロジェクトライフサイクル全体を通じた変更の監査履歴が提供されます。
- ベースライン管理: ベースライン管理では、プロジェクトのライフサイクルにおける戦略的なポイントで要件、テスト、テスト資産をキャプチャして、特定のマイルストーンを記録することができます。ベースラインの比較結果に基づいて、変更の影響を評価し、ロールバックを有効化することができます。
- 品質リリースおよびサイクル管理: リリースおよびサイクル管理では、開発およびテストサイクルの迅速化を可能にし、大規模なプロジェクトを有意なフェーズに分割します。リリース工程のサイクルごとに要件とテストを指定して、実際のテストステータスをリアルタイムで把握し、計画されたテストステータスと比較することにより、続行するか否かを確かな情報に基づいて決定できます。その結果に基づいて、リリース工程を計画することが可能です。
- テストのスケジューリングと実行: 革新的な手動テスト環境を提供するHP Sprinterでは、すべての手動テストおよび自動テスト (無人テストを含む) を実行、制御、およびスケジューリングすることが可能です。また、デスクトップとモバイルの両方をサポートします。テストの実行内容と結果を表示して評価することができ、不具合をテストの詳細とともに記録できます。
- 手動テストの統合: テストサイクルを削減でき、不具合を正確かつ詳細に文書化することが可能なHP Sprinterは、手動テストの常識を塗り替えます。データインジェクション、ミラーテスト、および不具合スキャナーにより繰り返しの作業を排除できるので、時間を節約でき、修正の必要が減ります。HP Sprinterでは、Microsoft Excel®ライクな環境内でテストを手動により作成でき、さらに、AUT (テスト対象アプリケーション) とのインタラクションに基づいてテストを自動で作成することもできます。ステップが自動的にキャプチャされ、それらのステップを不具合としてサブミットしたり、将来のテストに再利用したりすることが可能なため、探索型テスト中のステップをテスターが追跡する必要がありません。そして、HP QCEとHP ALMとの完全な統合により、要件およびテストケースから不具合に至るまでの完全なトレーサビリティが実現されています。詳細については、hp.com/go/sprinterをご覧ください。

- **不具合管理:** 本番環境に移されたアプリケーションに不具合が検出された場合の修正コストは、開発中の検出および修正コストに比べ何倍にも膨れ上がる可能性があります。HP QCEの不具合管理では、アプリケーションのライフサイクル全体にわたり不具合の特定、管理、追跡、および不具合の修正を実施し問題を解決します。テスターは、機能上の不具合、パフォーマンス上の不具合、およびアプリケーションセキュリティ上の不具合を手動で作成するか、または手動テストまたは自動テストの実行により直接作成することができ、リンクされた要件およびテスト実行結果からのコンテキストとともに、それらの不具合を開発者に伝達することができます。この機能は、モバイルデバイスでも使用できます。

QCEの機能とオプションについては、HP Quality Center Enterpriseのカタログをご覧ください。

アプリケーションライフサイクル全体を一元管理

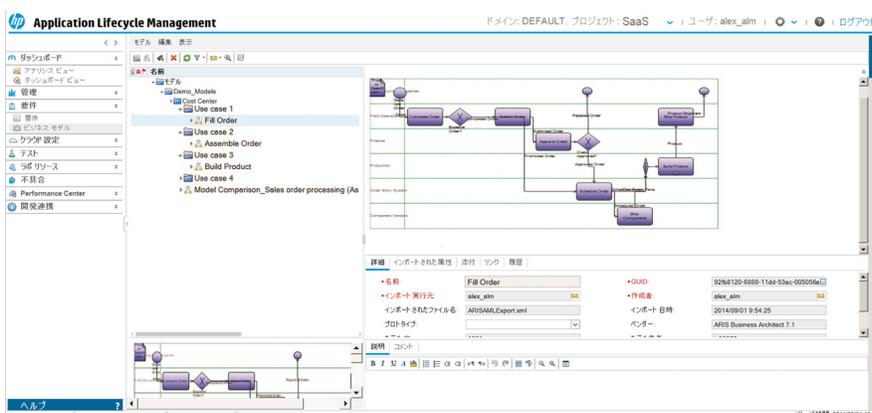
HP Project and Portfolio Management (PPM) ソフトウェア: HP PPMはHP ALMと連携し、アプリケーションライフサイクル管理をサポートします。まず、投資計画を作成し、限りのあるリソースを使った効果的な投資をサポートします。また、ポートフォリオ内のプロジェクトプログラムやアプリケーションの稼働状態、価値、ステータスをリアルタイムで可視化します。さらに、財務関連のレポート作成や業界標準/手法をサポートすることでアプリケーションライフサイクルのプロセス制御を自動化し、アプリケーションの品質を高めると同時にコストを削減します。

HP Executive Scorecard: ITリーダー向けのこの製品は、各種ITシステムのデータをマージすることにより、ITパフォーマンスを構成する主要な要素の全体像を把握します。HP ALMと連携することにより、アプリケーションの稼働状態やプロジェクトのステータスを表示します。また、100を超える主要業績評価指標が標準で付属します。

HP Performance CenterとHP LoadRunner: HP Performance CenterとLoadRunnerはHP ALMと統合されており、共通のユーザーエクスペリエンスと簡素化されたパフォーマンス検証を提供します。単一のビュー内で、手動、機能、パフォーマンス要件、テスト、および不具合のステータスをチェックできます。プラットフォームが統合されているため、HP Performance CenterおよびLoadRunnerのお客様がHP ALMにアップグレードすると、HP ALMの使用が可能になり、お客様のすべてのプロジェクトおよびリリースにわたるパフォーマンス検証が可能になります。

製品ライフサイクルを管理するHPソフトウェア: HPが提供する業界トップクラスの包括的なアプリケーションライフサイクル管理ツールは、アプリケーションライフサイクルに含まれる「稼働」や「運用」プロセスを自動化および簡素化します。また、ツールの多くはHP ALMと連携するので、アプリケーションの重要な側面をあらゆる角度から確実に把握できます。

図 3: ビジネスプロセスモデルを HP ALM にインポートし、ビジネスプロセスと要件を調整



Fortifyソリューションによるセキュリティ強化: HP Fortify Software Security Center

アプリケーションのセキュリティは、本番運用の開始まで放置してはならず、アプリケーションライフサイクルの開始時から一体化しておく必要があります。HP Fortify Software Security Centerでは、動的Webアプリケーションのセキュリティテストと静的なコード分析の両方を含むアプリケーションセキュリティソフトウェアの、実績あるポートフォリオを提供します。これらのソリューションは、クラウド上でオンデマンドで使用でき、業界最大規模のセキュリティエキスパートチームによってサポートされます。これらのエキスパートは、世界中で検出されているアプリケーションへの脅威に対する最新の知識とサポートを備えたソリューションを、絶え間なく更新しています。HP FortifyソリューションはHP ALMへの統合を通じて、アプリケーションライフサイクルの進捗を推進し、要件から開発およびテストに至るまでの意思決定を促進します。これは、セキュアで高品質なアプリケーションデリバリーを意味します。

HP ALMとアジャイルなデリバリ

HP ALMでは、プロジェクトステータスを追跡し、テストを迅速化してコストを削減し、開発とQAコラボレーションを向上し、さらにアジャイルプロジェクトと非アジャイルプロジェクトを並行して管理する能力を各チームにもたらすことにより、アジャイルデリバリをサポートします。HP Agile ManagerとHP ALMは、両方向で同期します。HP Agile Managerは、新しく登場した使いやすいシステムです。一元的な通信ハブとして意思決定をサポートし、アジャイルプロジェクトの編成、計画、デリバリプロセスを合理化します。アプリケーションライフサイクルの可視化、品質管理、継続的なテスト機能といったHP ALMの特長と、アジャイルチームのタスク、メトリック、進捗状況を全方位的にリアルタイムで捉えるHP Agile Managerの特長を組み合わせることにより、高速化と品質向上を実現します。

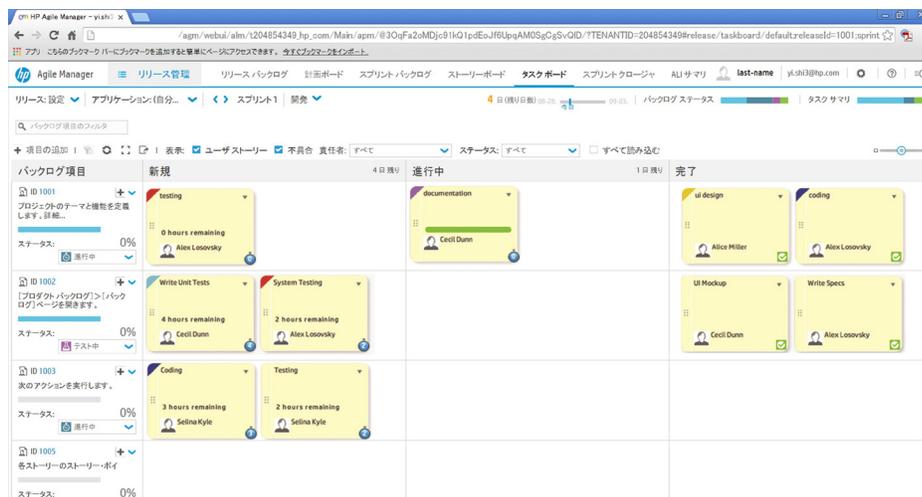
HP ALMのモバイルデバイスサポート

モバイルアプリケーションでの品質テストに対するニーズが増大を続けていますが、これにもHP ALMは最適です。QAチームと開発者は、コンピューターにアクセスできない状態でテストや不具合に対応しなければならない場合があります。また、テスト担当者は、ローカル以外にインストールされているアプリケーションの機能テストを行う場合があります。このような場合には、HP ALMソフトウェアモバイルアプリケーションとHP Anywhereを組み合わせることで、HP ALMソフトウェアの機能にiPhone®やAndroidモバイルデバイスからアクセスできるようになります。

HP ALM Defect Submissionモバイルアプリケーションでは、不具合の検証、ステータスのオンラインチェック、不具合ステータスの変更、不具合の作成、HP ALMソフトウェアへの不具合のアップロードなどを、コンピューターに直接アクセスせずに実行できます。

HP ALM Manual Testingモバイルアプリケーションでは、手動テストの表示と実行が可能です。また、モバイルデバイスにテストをダウンロードしてオフラインで実行した後、HP ALMソフトウェアに戻す操作も可能です。

図 4: チームの最新の進捗状況を明確に表示する HP Agile Manager タスクボード



ニーズに合わせたデリバリ

HP ALMは、オンプレミスとSaaSサブスクリプションの両方で利用できます。SaaS (Software as a Service) は、価値実現までにかかる時間を短縮します。また、迅速かつ安全なソフトウェアアクセスが必要な場合は、HPのエキスペルトが品質管理の効率化をサポートします。ALM on SaaSでは、アプリケーションライフサイクル全体を通じてアプリケーション品質の管理とテストを実施でき、総所有コスト (TCO) の低減や運用コストモデルの予測を可能にします。また、クラウドにデプロイされていると、実際のテクノロジーの管理に必要なリソースの低減、移行やアップグレードの負担軽減といった利点もあります。このように、HPが提供する最新の革新的なソフトウェアテクノロジーのメリットを活かしながら、中核的なビジネス戦略にフォーカスしたビジネス展開と、高い競争力につながるビジネス成果を実現できます。

HP SaaS の利用開始については、次の Web サイトをご覧ください。

saas.hp.com

ユーザーコミュニティと HP ソフトウェアのエキスパートには、次の Web サイトからアクセスできます。

hp.com/go/swcommunity

HP ALM on SaaSは、ビジネスに次のような利点をもたらします。

- 柔軟なデリバリーとサブスクリプションモデルでTCOを削減
- IT支出の予測とサービスレベルアグリーメント (SLA)
- ビジネスニーズに応じた迅速な拡張と変更
- オンデマンドの拡張性、マルチレイヤーセキュリティ、年中無休のサポートと豊富な専門知識
- 最新テクノロジーと革新的なHPソフトウェアへのアクセス
- 「SaaSへのアップグレード」により、リスク、コスト、テクノロジー管理を軽減し、ビジネス成果の実現にフォーカス

HP ALM プロフェッショナルサービス

HP ALMプロフェッショナルサービスは、新しい時代のエンタープライズアプリケーションのライフスタイル管理に向けた画期的なソリューションにフォーカスしたサービスです。提供されるサービスの例を挙げると、エンタープライズアジリティソリューション (大規模なアジャイルチームからアジャイルなポートフォリオ管理まで、エンタープライズ環境のあらゆるレベルでアジャイルかつリニアなプラクティスを推進)、DevOpsソリューション (要件からデプロイメントまでのITバリューチェーン全体でアジリティを推進)、HP Enterprise Mobilityソリューション (「高度にアジャイル」なモバイルアプリケーションに特化したDevOpsソリューションをサポート)、HP ALM Optimizationソリューション (HPのベストプラクティスと事前構築した高速化ユーティリティを含むライブラリに基づき、HP ALMを利用して価値/ROI実現までの時間を短縮)、Cloud ALMソリューション (オンデマンドのインフラストラクチャとプラットフォーム機能を利用することで、従量制モデルでサービスを提供)、エンタープライズCoEソリューション (テスト、サービスの仮想化、アジャイル、要件管理といったALM機能で利用可能) などがあります。

ALMプロフェッショナルサービスは成果ベースのサービスであり、SLAに基づいて具体的な成果の実現を目指します。

詳細情報

hp.com/go/hpalm

ニュース配信登録
hp.com/go/getupdated



職場の仲間とシェア



このドキュメントを評価

© Copyright 2010–2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

iPhoneは、Apple, Inc.の商標です。Microsoftは、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

4AA3-0927JPN, 2014年2月更新、Rev. 4

